マズダ石油株式会社

会社概要

マズダ石油
Middle East Oil & Gas

2026年吉日

Company history

マズダ石油は、日本国内において自社ブランド「Mazda Oil」による工業用潤滑油および
自動車関連製品の製造を行うとともに、世界各国へ向けて石油・石油製品のバルク販売を展開しております。

方針と基準 Policy and standards

当社のポリシーは、確かな「製品品質」を基盤とし、顧客満足度の向上、環境汚染の防止、および安全衛生に関する法令順守を徹底することです。潤滑油および工業用洗浄剤の分野において、新技術の研究開発に注力し、常に高品質な製品を追求し続けます。

経営の視点 Management Perspective

社会インフラとしての責任と、未来への挑戦

当社が取り扱う石油製品は、人々の生活を支え、経済を牽引し、災害時においてはエネルギー供給の「最後の砦」となる不可欠な資源です。私たちは、日々の安定供給という社会的責任を全うし、モビリティ社会と産業界を支え続けることが変わらぬ使命であると確信しています。

近年、カーボンニュートラルへの移行や再生可能エネルギーの導入、自動車の電動化など、業界を取り巻く環境は激変しています。私たちはこれらの変化を好機と捉え、「コスト競争力の追求」と「持続可能な供給体制」の両立をテーマに掲げています。

また、環境・農業分野への事業展開も進めており、環境保全に配慮した安全な食料供給システムの構築にも取り組んでいます。事業を通じて社会に貢献するという理念を胸に、すべてのステークホルダーと連携し、地球と社会のより良い未来の実現に向けて邁進します。

代表取締役 **松田 孝志**

目標

目標とコミットメント

マズダ石油は、株主様をはじめとするすべてのステークホルダーの利益を守り、従業員および関係者の権利を尊重することをお約束します。競争の激化や供給過剰といった課題を抱えるグローバル市場において永続的な成長を遂げるため、私たちは「品質」と「価格」の最適化を図ります。同時に、環境保全、持続可能性、安全性、そして企業風土の醸成や顧客第一主義といった重要指針を、経営の根幹に据えてまいります。

品質への信念

お客様が真に求めているのは、製品やサービスの「確かな品質」です。高品質な製品は、お客様の心に響き、信頼という私たちの貴重な財産となります。当社は経営陣と全従業員が一丸となり、世界基準を満たす品質管理システムの構築に尽力してきました。この品質への信念と企業文化こそが、経済的な目標達成への道筋であると確信しています。

現状分析と改善

私たちは、マーケティング、販売、生産、人事、財務、品質管理、研究開発といった全社的な活動分析を通じ、常に自社の現在地を客観的に把握しています。この分析に基づき明確な目標を設定し、業務改善を重ねることで、着実な成果へと繋げています。

パートナーシップ

経済活動において、製品を広く流通させる過程では、販売パートナーであるお客様の役割が極めて重要です。私たちは、お客様を単なる取引先ではなく「事業パートナー」と捉え、相互に利益をもたらす共存共栄の関係を目指しています。最終消費者と当社をつなぐ架け橋であるお客様（販売店・代理店等）を支援し、市場シェアの回復と拡大を図りながら、すべての関係者に利益をもたらす体制を構築します。

未来への戦略

今後は、認証取得、高付加価値製品の拡充、調達ソースの分散、研究開発の強化などを通じ、グローバル市場でのプレゼンスを高めてまいります。また、早期回収が見込める効果的なプロジェクトへの投資を拡大し、生産量と質の向上、輸出収益性の強化を図ることで、株主利益の持続的な確保に努めます。信頼できる海外企業との技術提携も推進し、さらなる飛躍を目指します。

マズダ石油は、生産・供給・貿易事業を通じてステークホルダーへの利益還元を目指します。各種エンジンオイル、工業用・自動車用潤滑油、石油化学製品の取り扱いに加え、関連事業への多角化も進めています。目標達成に向け、以下の重要施策に全力を尽くします。

01 市場への製品浸透と流通拡大
製品の市場認知を高め、スムーズな流通体制を構築します。

02 グローバルな代理店ネットワークの拡充
世界各国において製品を安定供給するため、代理店網の拡大と強化を図ります。

03 生産・充填・包装能力の増強
需要増に対応するため、製造ラインおよびパッケージング能力を強化します。

04 人的資源のパフォーマンス最大化
生産および販売の最大化を目指し、人材育成と能力開発を推進します。

05 部門間連携による資源効率の向上
研究開発・生産・営業・輸出の各部門が連携し、計画的なリソース活用を行います。

06 多様なニーズに対応するエンジンオイルの製造
市場の要求に合わせ、製品ラインナップの多様化を実現します。

07 代理店向け製品ラインの拡充
工業用オイルおよびギアオイルの製品群を追加・強化します。

08 完成品輸出の拡大による収益性向上
海外市場への完成品輸出を増やし、高収益体質を目指します。

09 ベースオイル戦略の強化
ベースオイルの輸入（一時輸入含む）により、利用可能な資源を確保。生産シェアを拡大し、完成品輸出へ充当します。

10 産業界との連携および技術支援
国内産業と連携し、販売・技術サービスのトレーニング等を提供することで、市場の発展に寄与します。

本プロジェクトの目的は、株主の皆様へ高い成果を還元することにあります。その実現のため、全社全部署が連携し、実効性のある取り組みを行います。 私たちは、世界市場における工業用および自動車用潤滑油の製造分野で確かな存在感を示し、すべてのお客様から信頼される企業であり続けることを目指します。関係各位のご支援と社員の総力を結集し、各地域の潤滑油業界における当社のプレゼンスをさらに拡大していく所存です。

事業概要一覧

01. 燃料油、原油、石油製品の調達・販売
02. LNG（液化天然ガス）、LPG（液化石油ガス）の取扱い/販売
03. ストレートアスファルト、アンモニア、航空・船舶用燃料の販売
04. 鉱物資源の取引
05. 石炭販売事業
06. 再生可能エネルギー関連事
07. 農業事業
08. 環境事業
09. エンジニアリングプラスチックの輸入・販売
10. 生分解性プラスチック・コンサルティング事業

取扱品目詳細

■ エネルギー分野 (Energy Sector)

- LPG（液化石油ガス）
- 軽油 (Diesel / Gas Oil)
- 重油 (Heavy Oil)
- 潤滑油 (Lubricants)
- 鉱物油 (Mineral Oil)
- ナフサ (Naphtha)
- 重質油 (Heavy Crude Oil)
- ストレートアスファルト (Straight Asphalt)
- アンモニア (Ammonia)

■ 鉱物資源 (Mineral Resources)

- 鉄鉱石 (Iron Ore)
- 銀鉱石(Silver Ore)
- 銅鉱石(Copper Ore)
- モリブデン (Molybdenum)
- ロジウム (Rhodium

■ その他事業分野

- プラスチック材料 (Plastic Materials)
- 農業 (Agriculture)
- 再生可能エネルギー分野 (Renewable Energy Field)

マズダ石油オリジナルブランド／エンジンオイル商品ラインアップ

#	商品名	SAE粘度グレード	ベースオイル種別	API規格	主な対象・用途	特徴・使い分けのポイント
1	Semi Synthetic engine oil	10W-40	半合成油 (Semi Synthetic)	SM	ガソリンエンジン全般、やや旧め～現行の乗用車	輸入ベースオイル＋添加剤で温度変化に強い汎用タイプ。“標準グレードの部分合成10W-40”。街乗り～一般高速走行向け。
2	Fully synthetic engine oil	10W-40	全合成油	SN	2011年以降の乗用車・ハイテクエンジン（欧州車含む）	API SN の上位グレード。3段階のエンジン保護と記載。半合成#1より高温・高回転時の保護性能を重視するユーザー向け。
3	Fully synthetic engine oil	5W-30	全合成油	SN	2011年以降の乗用車、低燃費志向車	低温流動性が高く、エンジン始動直後～高回転までを一貫して保護する設計。5W-30 指定の国産車・欧州車の「燃費重視」向け。
4	Fully synthetic engine oil	5W-40	全合成油	SN	2011年以降の乗用車、ハイパワー車・高速走行が多い車	API SNかつやや粘度高め。ストレスの大きい条件（高速・長距離・高温）での保護をうたう。5W 指定だが高温側40なので、欧州車やターボ車など負荷の高いエンジンに向け。
5	Gasoline engine oil（4L青ボトル）	10W-40	部分合成（Gasoline oil）	SL	ガソリン車全般	API SL レベル。どんな天候でも始動性がよく、オールシーズン向けと記載。#1より少し古めの規格を想定した車・フリート向けの“スタンダードガソリン用”。
6	Gasoline engine oil（1L黒ボトル）	10W-40	鉱物油＋合成油ブレンド	SL	上記と同じガソリン車用、補充・追加用	「synthetic and mineral base materials」とあり、鉱物油＋合成のブレンド。スペック自体は#5とほぼ同じで、1Lボトルの補充用・少量販売用。
7	ST4+ Engine oil Motorcycle Oil	30W-oil	全合成系（synthetic technology）	SL	4ストローク（二輪）・湿式クラッチ付きモーターサイクル	4Tバイク専用。クラッチ付きバイク向けの摩擦特性を持つ。エンジン始動性と燃費をうたうので、スクーターではなく“普通の4ストロークバイク向け”として使い分け。車用オイルとは混用しない。
8	Engine oil 20W-50	20W-50	（鉱物油主体）	SL	2001年～のガソリン車、旧車・高温地域・高負荷車	高粘度20W-50。高温でオイルが垂れやすい旧車や、オイル消費が多いエンジン、暑い地域・重負荷（荷物多め、登坂が多い等）向け。オイルクリアランスが広いエンジン向き。

#3 Fully synthetic engine oil

マズダ石油／エンジンオイル製造・山形工場について

所在地

〒992-1128
山形県米沢市八幡原二丁目4736-6
(米沢八幡原中核工業団地内)

※米沢市提供

戦略分類	Year 1 (基盤構築)	Year 2 (市場開拓)	Year 3 (拡大・輸出)
① 調達戦略	・中東現地サプライヤ契約 ・物流スキーム構築 (UAE/オマーン) ・輸入規制・通関対応設計	・供給安定化契約 (長期) ・異常時輸送ルート設計	・備蓄体制の導入 ・原材料の品質管理自動化
② 生産戦略	・OEMライン設計／機材調達 ・ISO取得準備／QC体制整備	・製造プロセス最適化 (JIT) ・カスタム製品対応開始	・新シリーズ開発 (EV用等) ・ライン自動化・無人化試験
③ 商品戦略	・ブランド名開発 ・国内法適合表示設計	・プレミアムライン展開 ・B to C向けパッケージ開発	・海外規格 (API、ACEA) 適合品開発
④ 販売戦略	・営業部門設置 ・ECチャネル準備 ・販路パートナー候補リスト化	・国内量販店・整備工場等に卸開始 ・Amazon／楽天等で販売開始 ・海外3拠点販売 (ベトナム／ラオス／フィリピン)	・他の東南アジア諸国への販売拡大 ・現地ディストリとのアライアンス締結
⑤ 法務・リスク管理	・第三国経由の合法性審査 (輸入構造の整備) ・輸入許可・製造許可取得	・製品表示・成分・広告に関するリーガルチェック ・知財管理	・第三国経由スキームの監査対応 ・OECD・EPA等海外法準拠対策
⑥ 組織財務	・専門人材 (輸入・製造・営業) 採用 ・補助金／助成金申請	・管理会計と原価管理制度の導入 ・利益再投資スキーム設計	・外部資金調達 (VC、商社連携) ・海外販社設立準備

東南アジア諸国との石油関連取引
(付帯事業)

01

2025年初頭から、ベトナム及びラオスの政府機関を訪問し石油関連商品の販売並びに付帯する石油関連施設(港湾施設・パイプライン等)建設計画について協議を重ねています。

1. ベトナム政府との石油販売の協議進展およびJV(合弁)設立準備
2. ラオスとのガソリン販売の覚書(MOU)締結、地元利害関係者との交渉開始
3. ラオス&ベトナムを結ぶパイプライン建設請負と石油販売

収入目論見	
(小計) 約180.3億円	ベトナム ➡ 10万リットル/月×650ドル×コミッション0.5%×12ヶ月=約17.55億円/年 ラオス ➡ ガソリン販売/年間188億円規模×コミッション0.5%=約28.2億円/年 ラオス&ベトナム間パイプライン建設と付帯石油取引契約 ➡ 200万リットル/月×650ドル×コミッション0.5%×12ヶ月=約117億円/年

02

Philippines、タイの大手企業からディーゼルオイル購入オーダーを受け、商談を進めています。

1. フィリピンへの石油商品販売商談及び現地企業のDD(デューデリジェンス)実施
2. タイ王国への石油製品販売商談及び現地企業のDD(デューデリジェンス)実施

収入目論見	
	フィリピン ➡ 10万リットル/月×650ドル×コミッション0.5%×12ヶ月=約17.55億円/年

03

その他、Dubai支社(現地法人)経由でアフリカ諸国並びに中国企業からも買い注文のオファーが届いています。

※ Dubai支社(現地法人)は
2026年2月に正式設立予定です。

生分解性プラスチック
コンサルティング事業譲渡

ビジネスパートナー

中国糧食総公司 / 中国儲備糧管理総公司（シノグレイン） / 青島吉宝密封工業有限公司
/ 天津アジアパシフィック / 永輝 / 長栄海運（エバーグリーン） / スイング株式会社 / 協和マテリアル 等

パートナー企業

- シルクロード貿易会議所
- 株式会社ミヤシタ
- 国連NGO平和友好大使
- 和月国際法律事務所
- 株式会社トキノ
- さくら農業生産株式会社
- 独眼竜農業協同組合
- 一般社団法人アーリーベイト
- STD株式会社
- 株式会社フジハクエン
- チャンスインターナショナル株式会社
- 三菱エネルギー株式会社
- 日清医療食品株式会社
- 日清製粉グループ
- 日清紡ホールディングス株式会社
- 帝人株式会社
- 全国漁業協同組合連合会（JF全漁連）
- 全国農業協同組合連合会（JA全農）
- 東京大学
- 東北大学
- 山形大学　等

Company Overview

会社概要

商号	マズダ石油株式会社
英文社名	Mazda Oil Co., Ltd.
本社所在地	〒143-0015 東京都大田区大森西七丁目7番19号 TEL 03-6263-8808　Email: info@mazda-oil.jp / ari@mazda-oil.jp 公式ホームページ : mazda-oil.jp
山形工場	〒992-1128 山形県米沢市八幡原二丁目4736-6 (米沢八幡原中核工業団地内)
ドバイ支社 (現地法人)	Office#04, 4I-SH-331 Saih Shuaib, Dubai Industrial City (DIC), Dubai, UAE　PO Box: 531510
設立	2010年 (平成22年) 3月23日
資本金	1億円

代表者	代表取締役　松田 孝志
役員	取締役：石濱 哲信　取締役：五十嵐 渉　監査役：小林 興起
事業内容	1. 石油・石油化学製品およびエネルギー関連製品の輸出入・販売 2. 潤滑油・油脂の製造、精製、配合および包装 3. エネルギー・石油化学プロジェクトへの参画（EPC事業） 4. 再生可能エネルギーおよび関連システムの設計・実施 5. 潤滑油・石油化学関連の添加剤・材料の研究開発 6. 関連資機材の輸出入
主要取引銀行	三菱UFJ銀行、みずほ銀行、三井住友銀行
主要取引先	中国糧食総公司、中国儲備糧管理総公司（シノグレイン）、青島吉宝密封工業有限公司、 天津アジアパシフィック、永輝、長栄海運（エバーグリーン）、日清食品サービス、スイング株式会社、 協和マテリアルズ　他

お問い合わせ Contact

Address
〒143-0015 東京都大田区大森西7-7-19

TEL
03-6263-8808

Email
info@mazda-oil.jp ／ ari@mazda-oil.jp

URL
mazda-oil.jp

mazda-oil.jp